

## 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案			
1	<p>「あいち森と緑づくり事業」は記載されているが、森林環境譲与税の活用方法の記載がない。他市町村では森林環境譲与税の活用の取組みを検討して計画づくりに反映している段階であると思う。緑全体として山林の倒木等まで含めてやっていく必要があると思う。また、国が示している生物多様性、防災の観点の辺りも反映されていないのではないか。</p>	<p>2022年（令和4年）3月に変更された「蒲郡市森林整備計画」に基づき、森林環境譲与税を有効活用し、森林整備を進める旨を基本施策1-1に追記する。</p> <p>第3章の「3 緑をめぐる社会動向」の中で「生物多様性」など項目を追加する。</p> <p>「グリーンインフラの普及・拡大」 「ウェルビーイングを実感できるまちづくり」 「脱炭素社会の実現」</p> <table border="1" data-bbox="719 813 1565 943"> <tr> <td data-bbox="719 813 975 943" rowspan="2">該当箇所</td> <td data-bbox="975 813 1565 875">資料2 38～42ページ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="975 875 1565 943">資料2 55、56ページ</td> </tr> </table>	該当箇所	資料2 38～42ページ	資料2 55、56ページ
該当箇所	資料2 38～42ページ				
	資料2 55、56ページ				
2	<p>緑の将来像において、水的环境軸（海辺）が蒲郡緑地のところで途切れているが、計画論から考えるとあまりすっきりしていないと思う。基本方針3で緑地や水辺をつなぎ、水と緑のネットワークを形成する、とあるので整合性の点で気になる。</p>	<p>第3回策定委員会の資料では環境軸を分断していたが、いただいた意見を参考として繋げるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="719 1252 1565 1317"> <tr> <td data-bbox="719 1252 975 1317">該当箇所</td> <td data-bbox="975 1252 1565 1317">資料2 52、53ページ</td> </tr> </table>	該当箇所	資料2 52、53ページ	
該当箇所	資料2 52、53ページ				
3	<p>海辺は木陰になりづらいが、川辺には木陰をつくり遊べる場所になる。計画に川の活用をもう少し入れてほしい。</p>	<p>川と公園が融合すると利用が高まると考える。川と結びついている公園は西田川公園があり、西田川が一部親水護岸になっている。他の公園では、中央公園は川に隣接しているため、中央公園の再整備時に検討していきたい。</p> <table border="1" data-bbox="719 1617 1565 1682"> <tr> <td data-bbox="719 1617 975 1682">該当箇所</td> <td data-bbox="975 1617 1565 1682">基本施策2-1（資料2 59ページ）</td> </tr> </table>	該当箇所	基本施策2-1（資料2 59ページ）	
該当箇所	基本施策2-1（資料2 59ページ）				
4	<p>中央公園は児童館があるため、小さい親子連れには人気がある。グラウンドで子どもは遊ぶことはできるが、遊具がない等の課題もある。子どもが入れる池もあるといいなと思う。</p>	<p>中央公園にも水竹公園に設置してある遊具や芝生広場があると魅力が高まると考える。豊川市の赤塚山公園は水浴び施設がリニューアルされて人気があるため、参考にしていきたい。</p> <table border="1" data-bbox="719 1939 1565 2000"> <tr> <td data-bbox="719 1939 975 2000">該当箇所</td> <td data-bbox="975 1939 1565 2000">基本施策2-1（資料2 59ページ）</td> </tr> </table>	該当箇所	基本施策2-1（資料2 59ページ）	
該当箇所	基本施策2-1（資料2 59ページ）				

### 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案	
5	<p>中央公園はできてから50年近く経過し、植えられている桜が痛んできている。蒲郡市の桜の名所でもあるので、計画的に植え替えを行い景観を維持してほしい。</p> <p>ほかの公園にも言えることだが、枯れた木を伐採するだけになっている。伐採後、新たな植樹を考えてほしい。</p>	<p>桜の木の継続的な植え替えは実施していない。昨今、街路樹の倒木や枝折れ等の事故もあるため、中央公園に限らず公園全体での樹木の管理、植え替え等を考えていきたい。</p> <p>また、樹木の植替えのみならず公園全体の構造を変える既設公園の再整備等の必要性があると考えている。</p>	
		該当箇所	基本施策2-1（資料2 59ページ）
			基本施策2-2（資料2 61ページ）
6	<p>将来大きくなるような街路樹（極高木）を植えると、通行できる範囲が狭くなり問題となるのではないか。これから高齢者の自転車も増えると思うと、植えるだけでなく、後の管理についても考えてほしい。</p>	<p>市としても極高木の管理は課題と考えている。道路整備を行った際に、クスノキからサルスベリに植え替え、管理の容易な樹種へ変更した事例もある。街路樹に関しては一人ひとり思いが異なってくるため、議論しながら状況に合わせて考えていくことが重要だと考えている。計画書には、剪定など適切な維持管理を記載する。</p>	
		該当箇所	基本施策3-1（資料2 62ページ）

### 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案	
7	基本施策3-2「臨海部緑地帯の形成」で、地図の中にコミュニティパークはどのような計画かはどのようなものか。	ボートレース蒲郡の敷地の南西角にあるボートレースと関連した施設である。レクリエーション施設として位置づけられているため、計画書に記載する。	
		該当箇所	基本施策3-2（資料2 63ページ）
8	基本施策3-2に臨海部緑地帯と書いてあるものについて、イメージではグリーンベルトだと思うが、都市計画でグリーンベルトというと開発抑制のためのバリアであるため、港湾計画側との調整が必要と思う。港湾計画側とも調整するのか。	蒲郡緑地は、港湾計画上で臨港施設として位置づけられている。現状の変更には港湾計画との調整が必要と考えている。そのあたりも踏まえて、公園機能の再編への道筋をつけていきたい。 港湾計画の変更については、県の変更のタイミングにうまく合えば順調にいくと考えているが、時期を逸すると時間がかかると思う。本件については、東港のまちづくりを進めているみなとみらい課と調整している。	
		該当箇所	基本施策3-2（資料2 63ページ）
9	鹿島町に住んでいるが、蒲郡緑地へ歩いて行くには遠く、自動車でなければ行けない場所である。木々がうっそうと茂り近寄りた公園と感じている。親しみやすい場所になると良いと思う。	海沿いのうまく使われていない土地に公園ができると生活向上に繋がると考えている。計画上の再編はそういった点も目指すものである。蒲郡緑地は、その立地上、日常的な利用が難しいと思われるため、陸側にその機能を移し、利活用されるようになれば良いと考え計画書に示している。	
		該当箇所	基本施策3-2（資料2 63ページ）
10	とよおか湖公園も蒲郡緑地と同様に自動車でないといけない公園で新しい古いの違いもあるが、広場や遊具、桜の木が植えられているので人気がある。蒲郡緑地は草が茂っていると奥の方まで行くのに不安である。自動車だとよおか湖公園まで行く人がいるのであれば蒲郡緑地にも行けるのではないか。これだけ暑いと公園は7～9月は遊べないが、木陰と水の施設があれば蒲郡緑地も十分に遊べると思う。	とよおか湖公園は指定管理者制度が導入され日常的に維持管理が行われている。 木陰と水景施設は公園に対する要望の多い施設である。いただいたご意見を踏まえて県と協議を進めたい。遊具については、蒲郡緑地は港湾労働者が憩う場所という位置づけにより設置していないと思われる。	
		該当箇所	基本施策3-2（資料2 63ページ）

### 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案	
11	<p>基本施策4-1「緑を守るボランティアの育成」について、緑に関する施策を行う際の担い手の問題が発生するが、ボランティアの活動を行ってくれる人がたくさん増えて積極的に施策の領域に参加していただくことが非常に力になると思う。</p>	<p>ボランティア、市民が主体となって活動することが大きな力となることから、行政はボランティア活動を支援することが重要だと考えている。少子高齢化の進行に伴う担い手不足が課題である。</p> <p>緑に関する情報をホームページや広報、SNSなどにより情報発信するとともに、蒲郡市なんでも出前講座や公園での植樹祭に参加いただくことで緑を愛する意識醸成を図る。</p>	
		該当箇所	基本施策4-1（資料2 64ページ）
12	<p>基本施策4-1「緑の学び場づくり」に示された小学校や中学校での活動について、総代が中心となって支援しているが、高齢化に伴い世代交代が必要と考えている。計画の中に活動継続の方法や、学校との連携、市からの支援について示してもらいたい。</p>	<p>活動する方の世代交代は重要であると考えている。環境学習など緑の大切さを学ぶ取組みは、若年層の愛護精神や緑の大切さの意識向上が次の世代の担い手育成につながると考える。このような機会を多く設けることが重要であり、自然体験学習や三河湾環境チャレンジ、また里山自然観察会を引き続き行っていく。</p>	
		該当箇所	基本施策4-1（資料2 64ページ）

### 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案	
13	第5章緑化重点地区の候補地区という表現はどういうことか。	候補地区という表現が分かりにくいいため、名称を変更する。	
		該当箇所	資料2 69ページ
14	蒲郡緑地が重点地区となっていないのは、県が管理者であるためか。	蒲郡緑地は、緑化重点地区設定の4つの視点に合致していないため、対象外とした。	
		該当箇所	資料2 69ページ
15	基本方針と緑化重点地区の設定とのつながりがわかりづらいと思う。重点地区を設定するに至った市の考えについて説明があるとわかりやすいと感じた。	視点の整理、地区の概況、課題を整理し、緑に関する取組みを記載した。	
		該当箇所	資料2 69ページ
16	東港地区まちづくりビジョンで位置付けられている蒲郡駅周辺市街地エリアも緑化重点地区に含めてもよいのではと感じた。	「港町・竹島地区」に蒲郡駅北地区で行われている再開発事業、みらいキャンパス整備事業を含めたエリアを設定し、取組について記載した。	
		該当箇所	資料2 69、70ページ
17	重点地区とは、指定することで積極的に整備を進める、ということか。	緑の取組み（基本施策）は全市域に行くが、重点地区は、その中でも積極的に緑づくりを進めていくエリアである。	
		該当箇所	資料2 70～73ページ

### 第3回策定委員会でのご意見について

番号	ご意見	対応案
18	蒲郡緑地について、多目的広場や浜町の野球場の利用状況はどうなっているのか。	本市には、スポーツができる多目的広場や野球場等の施設が少ないため、主に週末等に使われている。一方で、緑地部分では、植樹された木が雑然としており昼間でも薄暗く感じる。ここを訪れる市民は以前より減少していると考えている。
		該当箇所 ー
19	竹島水族館の待ち列が長い。子どもたちが待っている間に遊べるような広場や暑さ対策としてミストがあるとよいと思う。	担当部署へ情報共有する。
		該当箇所 ー
20	蒲郡駅南側で行われた街路樹のライトアップの社会実験は、とても良いと思う。この場所の道路は歩道が広く造られているが、せっかくの水路に水が常時流れておらず、また車道の幅員自体は狭い等、うまく空間を使えていないと感じる。市のシンボルとなるようにしてほしい。	東港まちづくりビジョンでは、現状の片側車線をにぎわいの空間に変えていくことを構想している。今後、具体的な形になってくると思われる。社会実験については好評であったと聞いており、エリア整備の際には、実験結果を生かしたものとなると思われる。
		該当箇所 ー
21	蒲郡南駅前広場の南側交差点の信号制御と横断歩道が分かりにくい。	交差する道路が国道23号であり、歩行者分離式信号となっている。
		該当箇所 ー
22	とりまとめの段階になっているが、本委員会の議論が市民の皆さんへいかに届けられるか、ということが重要であるため、計画書、概要版、また公表方法についても検討してほしい。	公表方法については、少し先になるが本委員会でお示しいた い。 最終の取りまとめ段階において、概要版で分かりやすい表現を検討する。
		該当箇所 ー